



戸田ヶ原 リポート

秋の色に染まりつつある戸田ヶ原自然再生エリア第1号地。
 今回は日本で昔から親しまれてきた秋の野の花の紹介と
 「ミドリシジミが舞う林プロジェクト」の経過をご報告します。



キンミズヒキ

黄色が映えるキンミズヒキ、赤紫のノハラアザミ。秋の野原には日本らしい心落ちつく風景があります。

1号地では、他にも秋を彩る日本古来の花々が咲いています。“吾亦紅”とも書くワレモコウは長く伸びた枝先に花びらのない赤紫色の花を付けて、生け花でも人気です。淡い紅紫色の花のフジバカマは、茎や葉を乾かすと良い香りがするので平安時代は匂い袋に詰め十二単(じゅうにひとえ)に忍ばせていました。またアキノノゲシは背丈を超えるくらいに伸びて、淡い黄色の花をたくさん付けています。

ぜひ、日本ならではの秋の原風景を感じることができる戸田ヶ原に足をお運びください！



ワレモコウ
見頃：8～10月



アキノノゲシ
見頃：9～10月

『ミドリシジミの舞う林をめざして』

戸田ヶ原では、埼玉県の大蛾に指定されているミドリシジミを呼び戻す取り組みを進めています。成虫の雄はエメラルドグリーンに輝いてとてもキレイですが、実は幼虫はハンノキという木の葉っぱしか食べません。そのため、市民の皆さんと一緒に2010年からハンノキを植える取り組みを進めてきました。最初に植えたハンノキは4mを越えるものもあり、大きく育っています！



フジバカマ
見頃：8～9月



ミドリシジミ(雄)

「道満さんま祭り」にとだみちゃんが来る!

10月4日(日)に彩湖・道満グリーンパークの中心広場で行われる「道満さんま祭り」にとだみちゃんが登場します!当日はキッズコーナーでサクラソウの切り絵づくりもありますので、ぜひご参加ください。



7・9月の保全管理作業

1号地では季節に応じて野の花が見られるように戸田ヶ原サポーターの方と一緒に保全管理を進めています。7月29日、9月15日には、外来植物(オオブタクサなど)の抜き取りや刈った草の運び出し、オギが園路に倒れないように縄で縛るなどの作業を行いました!



戸田ヶ原サポーター活動予定

秋を迎え、植物の生長も一段落しましたので、活動はしばらくお休みします。12月頃からサクラソウの植え付け準備などを予定しています。その際は改めて事務局からご連絡いたしますのでどうぞよろしくお祈りします!

秋のガイドウォーク開催します!

10月31日(土)9:30~12:00に「秋限定!ホンモノの自然をご案内♪彩湖・道満グリーンパークでガイドウォーク」を開催します。

当日は、ふるさとの原風景「戸田ヶ原」の秋バージョンをガイドがご案内。自然再生に取り組んでいる場所をめぐりながら、希少な野草の植え付けも行います。申し込みは下記の環境政策課で受け付けています。戸田ヶ原で、秋の散歩はいかががでしょうか?



チョウジソウ情報

育成中のチョウジソウは、だいぶ背丈が伸びてきました。少し日蔭な場所を好む植物ですので、鉢は軒下などに置いてください。水やりも忘れずをお願いします。



JR埼京線またはJR武蔵野線
武蔵浦和駅より「下笹目 行」バス乗車
「彩湖・道満グリーンパーク入口」
下車徒歩10分

JR埼京線 北戸田駅より
tocoバス美笹循環乗車
「道満」下車徒歩8分



戸田ヶ原自然再生キャラクター
とだみちゃん

